

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	225	学校名	仙台市立八木山中学校	校長名	布施 辰哉
------	-----	-----	------------	-----	-------

- 1 取組のタイトル, テーマ
生徒会によるエコ・スクール活動

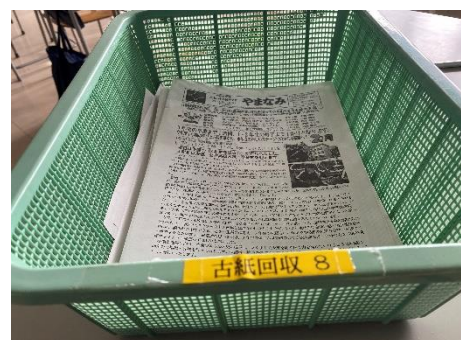


- 2 取組の紹介
ボランティア委員会におけるエコ・スクール活動を紹介していきます。

・各教室へ古紙回収BOX の設置

各教室に古紙回収BOXを設置し、プリント類の残部を集め、分別し、再利用しやすいゴミ収集に取り組みました。月1回の委員会で、ボランティア委員会が各クラスのBOXを、色紙や冊子、個人情報が入っているものを確認しながら仕分け作業を行います。

ボランティア委員会では、不要な紙を「ゴミ」として捨てるのか「資源」としてリサイクルに回すのか、私たちの選択で地球の未来は違ってくると、その意識を持たせることに力点を置いています。その呼び掛けの結果、各教室では、紙ゴミを捨てるのではなく、古紙回収BOXへ入れるなど、積極的な取組みが見られました。



↑古紙回収ボックス

・ペットボトルキャップの回収, リサイクル

ボランティア委員と生徒会執行部がペットボトルキャップの回収ボックスを各階に設置し、ペットボトルキャップの回収、計量、回収業者への送付まで行いました。

生徒会執行部からは以下のように全校生徒に呼び掛けました。

リサイクルのためのエコキャップ運動では、現在までで25kg以上のキャップが集まり、八木山中学校の皆さんの協力にとっても驚きました。25kgは、ワクチン約12人分になります。少ないと思う人もいると思いますが、私達がいなければこの12人が救われることはありません。この八木山中学校が、社会へ少しでも貢献していることを誇りに思い、このエコキャップ運動をより活発なものにしていけたら良いと思います。



生徒会執行部やボランティア委員会の積極的な呼び掛けで、1人で20個や30個のキャップを持ってくる生徒もいました。

- 3 取組の成果 (生徒の変容)

上記の活動をとおして、生徒がエコに対して意識するようになったと考えられます。ボランティア委員会ではSDGsに則ってより地球に、世界に貢献できることはないかと知恵を出し合って企画している姿が見られました。来年度からは、生徒会を中心とした活動をより一層強化し、更に美化意識を高められるようにしていきたいと思います。

